Pioneer

FM/AMデジタル - シンセサイザーチューナー

F-D3

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口･修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

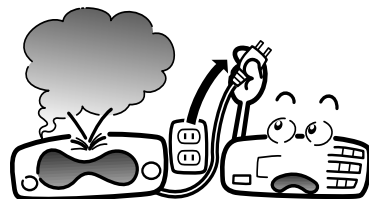
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意 （付属の「安全上のご注意」もお読みください）

⚠ 警告

〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

目次

特長

■ 30局ランダムプリセット& 30局マニュアルステーションネームメモリー

本機に放送局の周波数を記憶させせることにより、ステーションナンバーを選ぶだけで希望の放送局を受信できるクラス方式30局プリセットと、それらに4字までの文字情報が入力できるステーションネームメモリーを搭載しています。（P.14 ～ 17 参照）

■ メモリースキャン機能

プリセットした放送局をクラス単位で順番に約5秒ずつ受信しますので、各放送局の内容をチェックしながら希望の局を選ぶことができます。（P.15 参照）

■ RF ATT（RF アッテネーター）

FM放送の受信中、過大なアンテナ入力による音の歪みを低減するRF ATTを装備しています。（P.9、⑩RFアッテネーターボタン参照）

■ AM受信 WIDE/NARROW切り換え

AMにIF帯域切換回路を装備し、WIDE（ワイド）で臨場感あふれる受信、NARROW（ナロー）で雑音の少ない受信と、2つの受信ポジション切り換えが可能です。（P.9、⑪MPXモードボタン参照）

■ AMステレオ対応

AM 放送の受信中にステレオ番組が放送されると、（WIDE/NARROW切り換えでWIDEが選択されているとき、）自動的にステレオ音声に切り換わります。

■ リモートコントロール端子

パイオニアのSR マークの付いたステレオアンプと組み合わせると、アンプに付属のリモコンを使って本機の操作をすることができます。（P.7 参照）

■ 省エネルギー設計製品

本製品は電源オフ時（スタンバイ時）の消費電力を抑えた設計となっています。スタンバイ時消費電力値はP.19の仕様欄を参照ください。

ご使用の前に

本製品の取り扱いについて

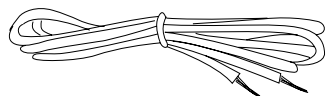
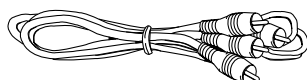
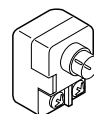
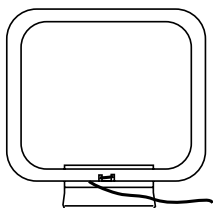
■製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

■結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

付属品の確認

- FM T字型アンテナ

- オーディオコード

- 変換アダプター

- AMループアンテナ

- コントロールコード

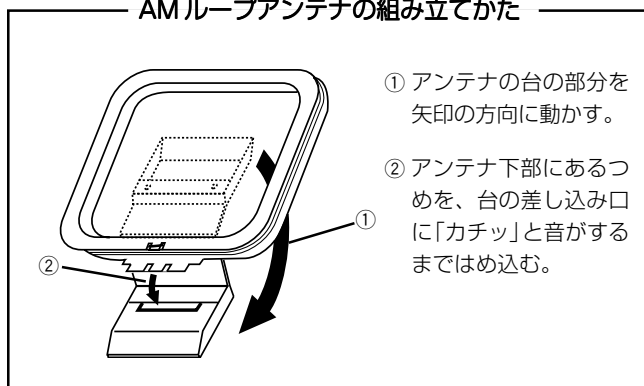
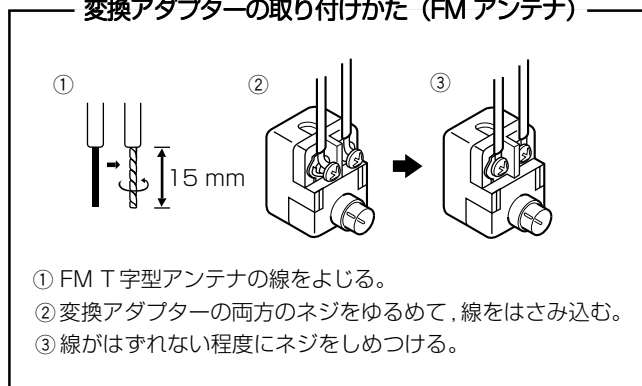
- 安全上のご注意
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書
- 保証書

AMループアンテナの組み立てかた

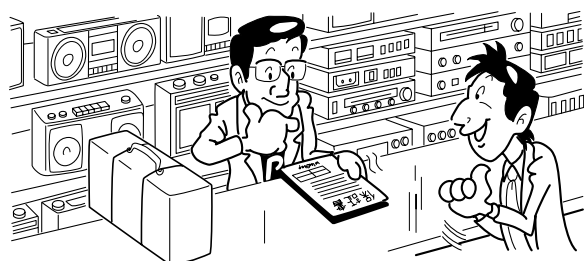
① アンテナの台の部分を矢印の方向に動かす。

② アンテナ下部にあるつめを、台の差し込み口に「カチッ」と音がするまではめ込む。

変換アダプターの取り付けかた（FMアンテナ）

① FM T字型アンテナの線をよじる。
② 変換アダプターの両方のネジをゆるめて，線をはさみ込む。
③ 線がはずれない程度にネジをしめつける。

アフターサービスについて

■ 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

● **保証期間はご購入日から 1 年間です。**

■ 補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

● 保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたは、お求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って、修理いたします。

● 保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたは、お求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

連絡していただきたい内容

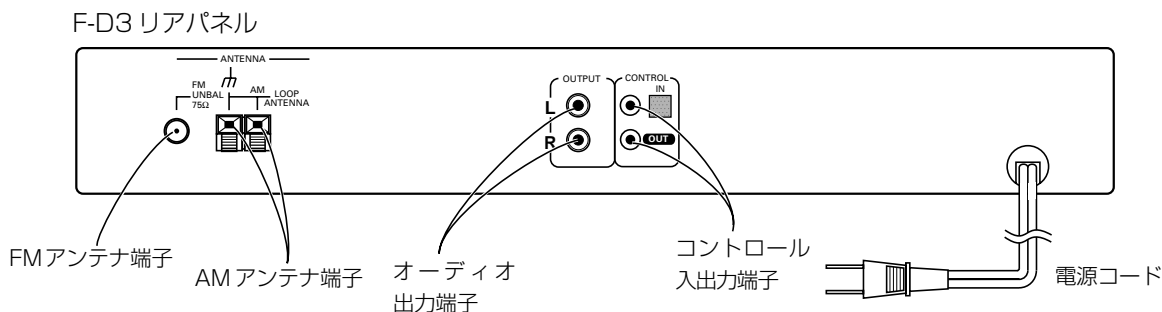
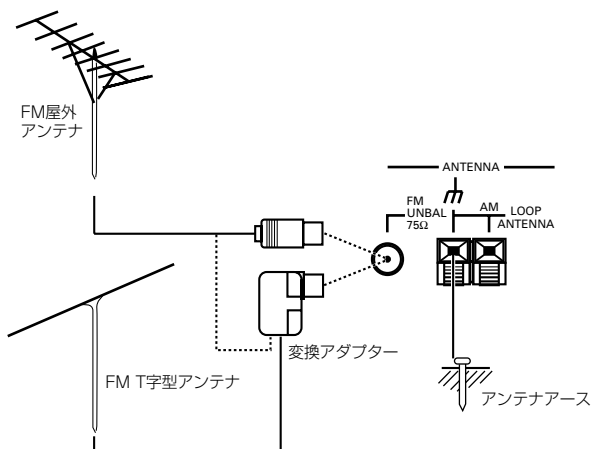
- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- ご訪問のご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住　所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住　所 電話番号
ご購入年月日	年　　月　　日	型　番	この機種は F-D3 です。

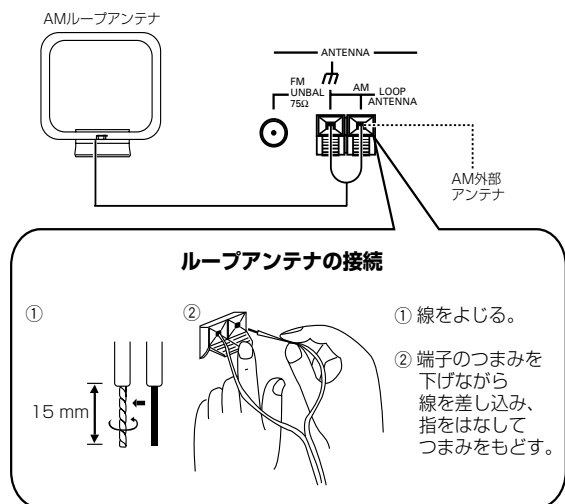
接続

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

FM T字型アンテナ（付属）/ FM 屋外アンテナ

- 左図のように付属のT字型アンテナをFMアンテナ端子に接続します。(変換アダプターの取り付けについてはP.4を参照してください。)
- T字型アンテナは両端をぴんと張り、壁などにはりつけてください。
- T字型アンテナを使用しても受信電波が弱いとき、雑音が多いときなどは、屋外アンテナを使用してください。

アンテナアースについて

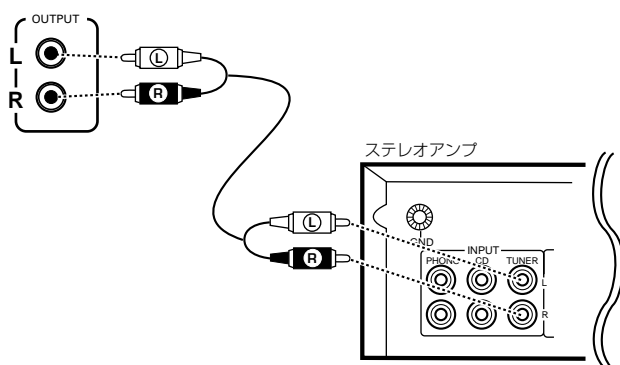
この⏚（信号用アース）端子は雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

⚠ **ガス管には絶対に接続しないでください。ガスに引火することがあり危険です。**

AM ループアンテナ（付属）

- 左図のようにアンテナの接続コードをAMループアンテナ端子に差し込みます。
- 平らな面でアンテナをセットし、電波受信が最良となる方向に向けます。
- ボンネットの上やその他の金属物、CDプレーヤー、パソコン、テレビなどのそばにアンテナを置かないでください。

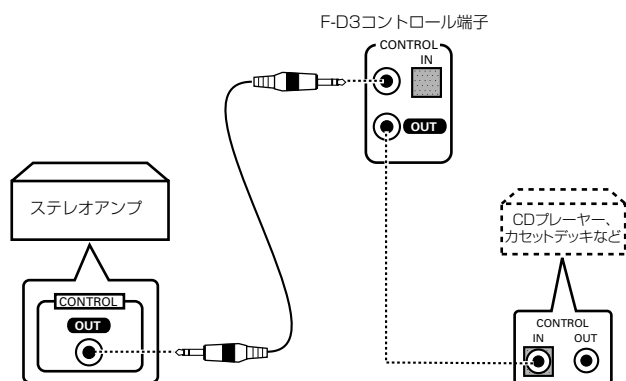
AM 外部アンテナについて

AMループアンテナの位置や方向を変えてみても放送が良好に受信できないときは、AM室内アンテナまたはAM屋外アンテナをAM端子に接続してください。AM室内アンテナまたはAM屋外アンテナを接続した場合も、AMループアンテナは必ず接続しておいてください。

オーディオコード

- 左図のように、付属のオーディオコードを使って本機の出力端子とステレオアンプの TUNER 入力端子を接続します。
- 白いプラグは白い端子（L）に、赤いプラグは赤い端子（R）につなぎます。
- プラグは奥までしっかりと差し込みます。

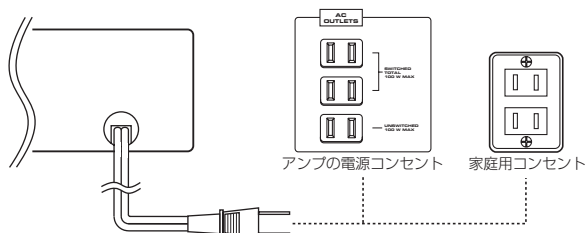
■ **オーディオコードの接続についての注意**

- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。PHONO 入力端子は本機からの出力信号レベルに対応していないため、接続すると音が歪んだり、アンプやスピーカーを破損することがあります。
- アンプ側に TUNER 入力端子がない場合は、LINE 端子、AUX 端子などに接続してください。

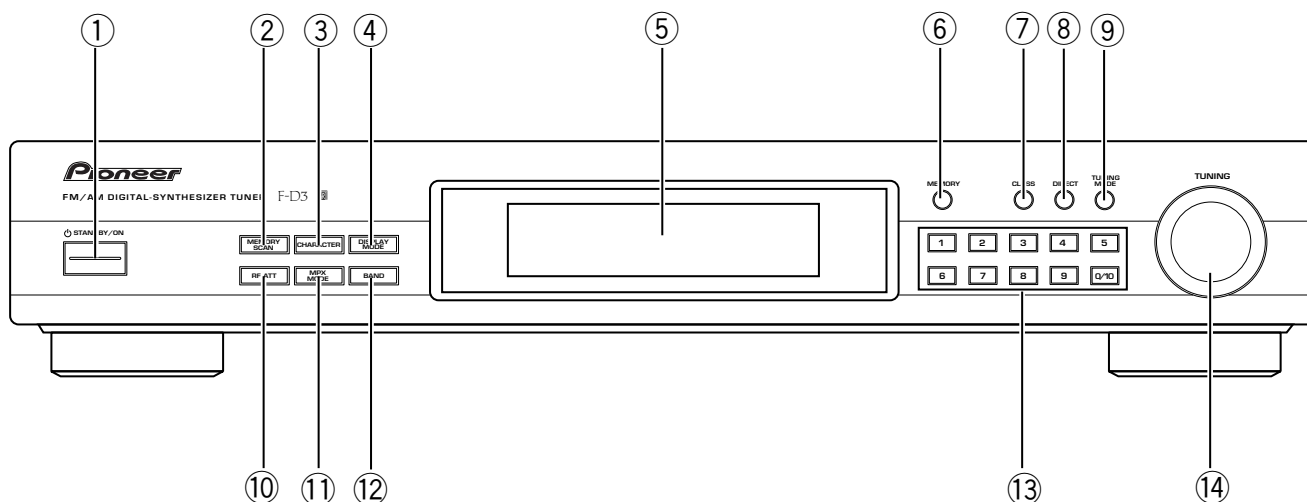
コントロールコード

コントロール端子について

弊社のリモートコントロール信号の入出力端子です。
パイオニアの SR マークの付いたステレオアンプと組み合わせると、アンプに付属のリモコンを使って本機の基本操作をすることができます。

- 左図のように付属のコントロールコードを使って、本機のコントロール入力端子（IN）とアンプのコントロール出力端子（OUT）をつなぎます。
- 本機のほかにもアンプのリモコンを使って操作する機器があるときは、本機のコントロール出力端子（OUT）とその機器のコントロール入力端子（IN）をつなぎます。
- コントロール接続をしたあとの基本操作については、ステレオアンプの取扱説明書を参照してください。

電源コード

- 本機の電源コードを、ステレオアンプのリアパネルにある電源コンセント、または家庭用コンセントに差し込みます。

各部の名称と機能

フロントパネル

① ⏻ 電源スイッチ（STANDBY/ON）

電源の ON と OFF（スタンバイ）を切り換えます。

② メモリースキャン(MEMORY SCAN)ボタン

プリセットした放送局をクラス単位で順番に受信し、メモリーされた放送局を確認できます。

● メモリースキャンの方法についてはP.15を参照してください。

③ キャラクター（CHARACTER)ボタン

プリセットしたステーションナンバーに、放送局名を入力するときに使います。

● 放送局名の入力については P.16 を参照してください。

④ ディスプレイモード(DISPLAY MODE) ボタン

放送局名が記憶されているとき、プリセット選局モード中にディスプレイの表示を切り換えます。このボタンを押すたびに、放送局名と周波数に表示が切り換わります。

⑤ ディスプレイ部

(P.10「ディスプレイ表示の見かた」を参照してください。)

⑥ メモリー（MEMORY）ボタン

放送局をプリセットするとき、放送局名入力のときに使います。

⑦ クラス（CLASS）ボタン

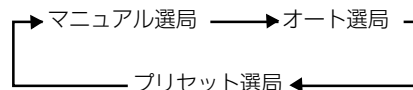
プリセットメモリーされたクラスの切り換えをします。ボタンを押すたびにクラスが、→A→B→C と切り換わります。

⑧ ダイレクト (DIRECT) ボタン

ダイレクト選局をするときに使います。

● ダイレクト選局については P.13 を参照してください。

⑨ チューニングモード(TUNING MODE)ボタン

ボタンを押すたびに選局方法が、以下のモードに切り換わります。

● オート選局では、ディスプレイに AUTO インジケーターが点灯し、プリセット選局では、ステーションナンバーまたは放送局名が表示されます。

⑩ RF アッテネーター（RF ATT）ボタン

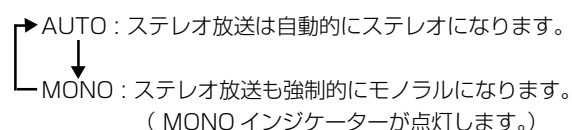
FM放送の電波が強すぎて音が歪んだりするとき、このボタンを押すと、音の歪みが低減されます。ディスプレイにRF ATT インジケーターが点灯します。

- AM 放送受信時には働きません。
- 放送局をプリセットするときRF ATTを設定しておくと、設定モードが放送局ごと記憶されます。

⑪ MPX モード（MPX　MODE）ボタン

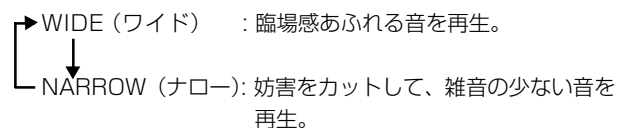
＜ FM のとき＞

ボタンを押すたびに受信状況が以下のように切り換わります。

AUTO : ステレオ放送は自動的にステレオになります。
↓
MONO : ステレオ放送も強制的にモノラルになります。
（ MONO インジケーターが点灯します。）

- 電波が弱くステレオ受信ではノイズが大きい場合、MONO を選んでモノラル受信をすることで、ノイズを低減させることができます。
- 受信電波が弱いとき、AUTOでは出力が自動的にミュートされます。その場合 MONO にすると弱い電波も聞くことができます。
- 放送局をプリセットするとき AUTOまたはMONOに設定しておくと、設定モードが放送局ごと記憶されます。

＜ AM のとき＞

受信中、周波数の異なる放送局の電波の妨害を受けたり、音が混ざりあったりするとき、このボタンを押して受信ポジションを切り換えます。
ボタンを押すたびに受信状況が以下のように切り換わります。

WIDE（ワイド）　: 臨場感あふれる音を再生。
↓
NARROW（ナロー）: 妨害をカットして、雑音の少ない音を再生。

WIDE/NARROW のディスプレイ表示

WIDE :　ステレオ受信のときはSTEREOインジケーターが点灯、モノラル受信のときは、STEREO／MONO の表示はありません。
NARROW : 受信している放送がモノラル、ステレオに関係なく MONO インジケーターが点灯します。

- 通常は WIDE にしておきます。
- NARROW のときは自動的にモノラル受信になります。
- 放送局をプリセットするとき WIDE または NARROW に設定しておくと、設定モードが放送局ごと記憶されます。

⑫ バンド切換ボタン

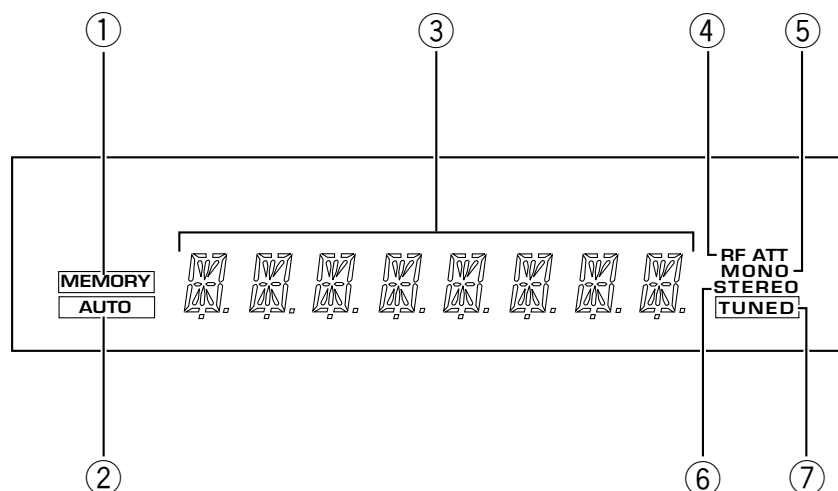
ボタンを押すたびにFM/AM受信バンドが切り換わります。

⑬ ステーションコール／ナンバー ボタン

放送局をプリセットするときや、プリセットした放送を受信するときに使います。また、ダイレクト選局をするときの周波数の入力に使います。

⑭ チューニングつまみ

放送を聞くとき周波数を合わせます。時計回りに回すと周波数が上がり、反対に回すと周波数が下がります。プリセット選局では、つまみを回してステーションナンバーを選べます。また放送局名を入力するとき、文字を選択します。

ディスプレイ表示の見かた

① MEMORY インジケーター

放送局のプリセットをするときMEMORY ボタンを押すと点灯します。この表示が点灯している間に、プリセットするステーションナンバーを選びます。

② AUTO インジケーター

チューニングモードボタンで、オート選局モードが選択されているときに点灯します。

③ 周波数／ステーション表示部

受信バンドと周波数を表示します。プリセット選局のときはステーションナンバーまたは放送局名を表示します。

④ RF ATT インジケーター

FM 放送の受信中、RF アッテネーターが働いているときに点灯します。

⑤ MONO インジケーター

MPX モードボタンで、MONO または NARROW が選択されているときに点灯します。

⑥ STEREO インジケーター

ステレオ放送を受信しているときに点灯します。

- ステレオ放送の場合でも、MPX モードでMONO（FM受信時）または NARROW（AM 受信時）が選択されているときには、MONO が点灯します。

⑦ TUNED インジケーター

放送受信時に点灯します。

- 受信電波が微弱な場合は点灯しません。

FM/AM 放送を聞く

本機を操作してFM/AM 放送を受信するには、以下の４つの方法があります。

マニュアル選局 ：手動でチューニングつまみを回して聞きたい放送局を選びます。
オート選局 ：自動で同調される電波をチェックしながら、聞きたい放送局を捜します。
ダイレクト選局 ：放送局の周波数を直接入力して選局します。聞きたい放送の周波数を知っている場合に便利です。
プリセット選局 ：あらかじめ放送局を記憶させることにより、ステーションナンバーを選ぶだけで放送を呼び出せます。またメモリースキャン機能を使えば、プリセット局の放送内容をチェックしながらお好みの局が選べます。

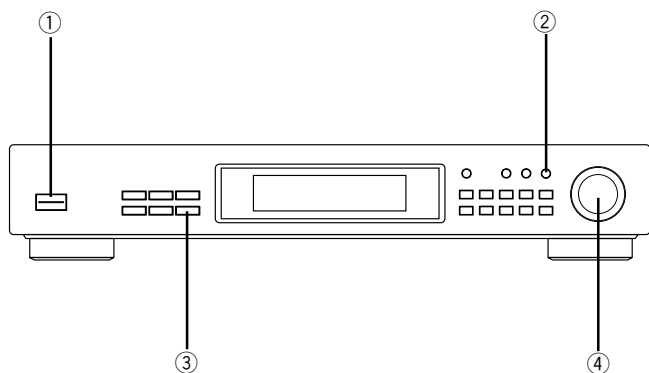
「ラストワンメモリー」について

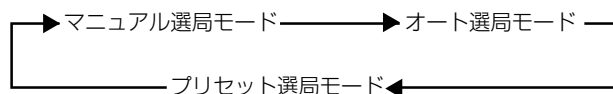
- 電源が切れている状態から電源をONにすると、電源をOFF（STANDBY）にする前に聞いていた放送局を受信します。
- 電源が入っている状態でバンド切換ボタンを押すと、バンドを切り換える前にそのバンドで聞いていた放送局を受信します。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

マニュアル選局

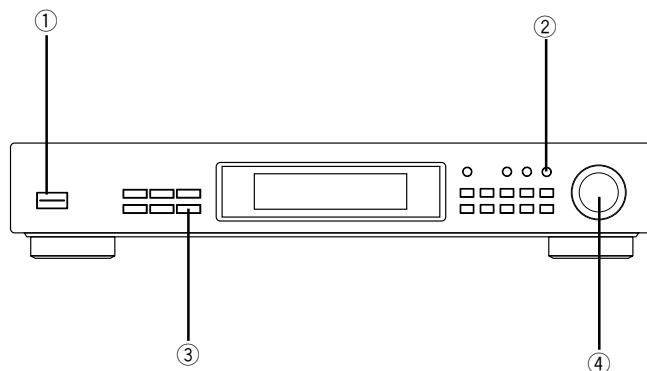
手動でチューニングつまみを回して聞きたい放送局を選びます。

① **電源スイッチを ON にする。**

② **チューニングモードボタンを押して、マニュアル選局モードを選ぶ。**
- チューニングモードボタンは押すたびに、以下のように切り換わります。

- マニュアル選局モードでは、ディスプレイに受信バンド（FM/AM）と周波数が表示されます。
（オート選局モードではディスプレイにAUTOインジケーターが点灯しますが、マニュアル選局モードではインジケーターは点灯しません。）

③ **バンド切換ボタンを押して受信バンド(FM/AM)を選ぶ。**
- 表示部のFM または AM が切り換わります。

④ **チューニングつまみを回して聞きたい放送局の周波数に合わせる。**
- チューニングつまみを時計回りに回すと周波数が上がり、その反対に回すと周波数が下がります。

オート選局

本機が自動で放送局の電波をキャッチしていくので、受信できる放送局をくまなく捜せます。

① **電源スイッチを ON にする。**

② **チューニングモードボタンを押して、オート選局モードを選ぶ。**
- オート選局モードを選択するとディスプレイに AUTO インジケーターが点灯します。

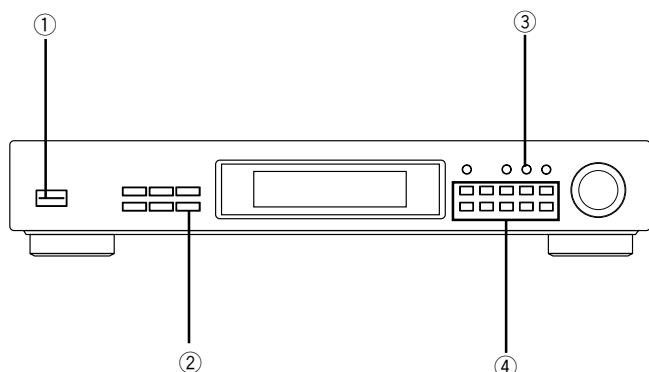
③ **バンド切換ボタンを押して受信バンド(FM/AM)を選ぶ。**
- 表示部に FM または AM が点灯します。

④ **チューニングつまみを回すと自動的に周波数が変わり、放送を受信すると停止する。**
- 放送を受信するとディスプレイに TUNED が点灯します。
- チューニングつまみを時計回りに回すと周波数が上がり、その反対に回すと周波数が下がります。

⑤ **聞きたい局が見つかるまで、④ を繰り返す。**

■ **オート選局についての注意**
- 本機は高感度のため、特に夜間は電波伝搬が良いために、微弱な海外放送局でも自動停止することがあります。また都市雑音にも自動停止することがあります。
- AM 放送をオート選局を使ってプリセットする場合、微弱な電波もキャッチしてひんぱんに自動停止するようならば、AM ループアンテナの向きを変えたりアンテナを倒してください。強力な電波のみキャッチすることができます。その場合、プリセット後にループアンテナを最良の向き、位置に戻してください。
- 受信電波の微弱な放送局はマニュアル選局で受信してください。電波が微弱だとオート選局では感知しないことがあります。

ダイレクト選局

放送局の周波数を直接入力して選局します。聞きたい放送の周波数を知っている場合に便利です。

① **電源スイッチを ON にする。**

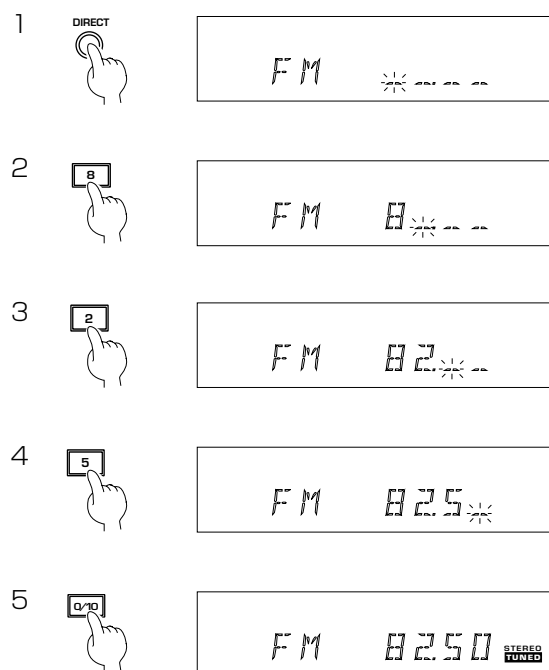
② **バンド切換ボタンを押して受信バンド(FM/AM)を選ぶ。**
- ディスプレイに FM または AM が点灯します。

③ **ダイレクトボタンを押す。**
- ディスプレイの周波数入力の位置が点滅します。

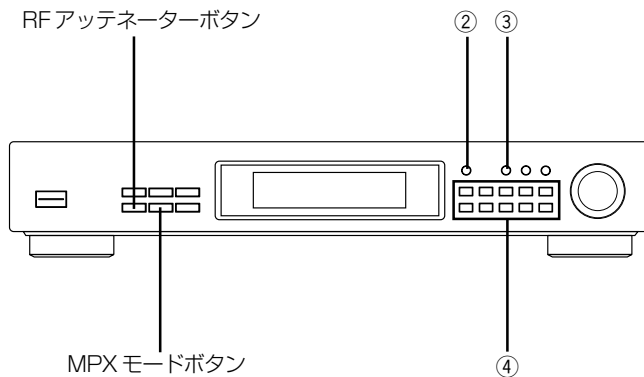
④ **ナンバーボタンを使って、放送局の周波数を入力する。**
- FM 放送をダイレクト選局するとき、小数点の入力は必要ありません。

例：FM 82.50 MHz に周波数を合わせる。

1　ダイレクトボタンを押す。
2　[8]　を押す。
3　[2]　を押す。
4　[5]　を押す。
5　[0/10]　を押す。

1　DIRECT　FM
2　8　FM 8
3　2　FM 82
4　5　FM 82.5
5　0/10　FM 82.50　STEREO TUNED

■ **ダイレクト選局についての注意**
- 入力をキャンセルするときは、周波数を最後まで入力する前にもう一度ダイレクトボタンを押します。
- 周波数は最後の桁まで確実に入力してください。確実に入力されないとダイレクト選局はされません。
- まちがった周波数を入力すると、その付近で一番近い正しい周波数に自動的に修正されます。（例：FM 82.51→FM 82.50）

プリセット選局（1.放送局をプリセットする）

クラスとナンバーの組み合わせ（A1～A0、B1～B0、C1～C0）で、合計30局までプリセットメモリーすることができます。

① **マニュアル選局、オート選局、ダイレクト選局いずれかの操作を行い、プリセットする放送局を受信する。（それぞれの選局方法については P11 ～ 13 を参照。）**
- 放送の受信と同時に以下の設定をします。これらの設定状態も放送局ごとに記憶されます。
  ＜ FM 放送の場合＞
  ・RF ATT の ON/OFF
  ・ステレオ（オート）受信／モノラル受信の設定
  ＜ AM 放送の場合＞
  ・受信ポジション WIDE ／ NARROW の設定

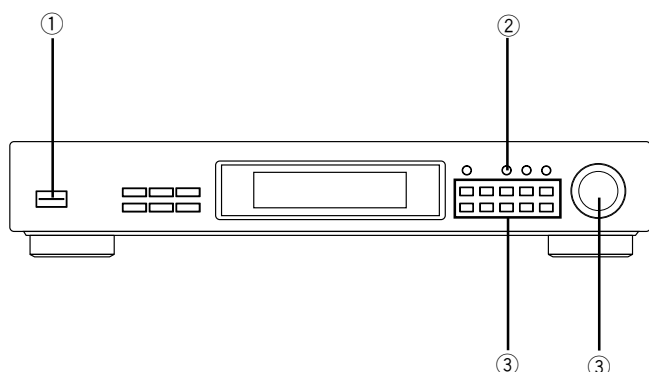
② **メモリーボタンを押す。**
- ディスプレイにはMEMORYインジケーターが点灯し、クラス表示が点滅します。
- 約5秒で点滅は終了します。その間に以下③④の操作をしないとメモリーは設定されません。そのときは、もう一度メモリーボタンを押して操作を続けてください。
- MEMORYインジケーターの点灯中にメモリーボタンをもう一度押すと、設定は解除されます。

③ **クラスボタンを押して、記憶させたいクラスを A ～ C の中から選ぶ。**

④ **記憶させたい番号のステーションコールボタンを押す。**
- ディスプレイの MEMORY インジケーターが消えたら、メモリーは完了です。
- メモリーが完了すると、① で設定した選局モードに戻ります。

⑤ **プリセットメモリーを続けるときは、上記 ① ～ ④ を繰り返す。**
- すでに放送局が記憶されていたステーションナンバーに新たにメモリーすると、前に記憶されていた放送局は消去されます。

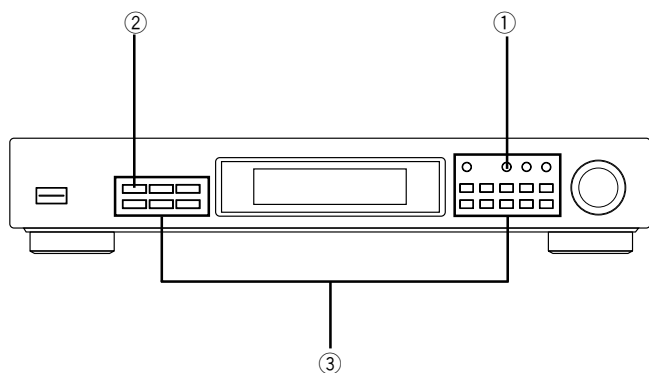
■ プリセットについての注意
- 電源を OFF（スタンバイ）にしても電源コードを抜かなければ、プリセットした放送局は消去されません。電源コードを抜いた場合でも、本機はバックアップ機能を備えていますので、およそ 1 か月以内でしたらプリセットした放送局は消去されません。
- プリセットした放送局が消えてしまったら、もう一度プリセットしてください。

プリセット選局（2. 放送を聞く）

① 電源スイッチを ON にする。

② クラスボタンを押して、希望のクラスを A ～ C から選ぶ。

③ 希望のステーションコールボタンを押す。またはチューニングつまみを回して、希望のステーションナンバーを選ぶ。
- ディスプレイにステーションナンバーとその周波数が表示されます。

プリセット選局（3. メモリースキャン）

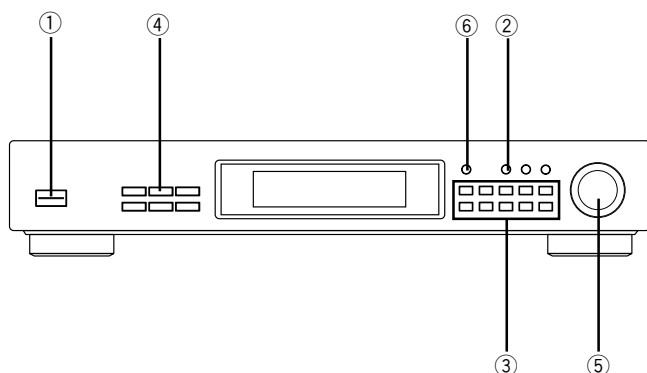
メモリースキャンとは、プリセットした放送局のクラスを選んで、そのクラス内で順番に受信してゆく機能です。放送されているプログラム内容を確認しながら、希望の局が選べます。

① クラスボタンを押して、メモリースキャンするクラス（A ～ C）を選ぶ。

② メモリースキャンボタンを押す。
- ディスプレイの表示が点滅しながら、各放送局を約5秒間ずつ受信してゆきます。

③ 希望の局が見つかったら、本機のいずれかのボタン（電源スイッチは除く）を押す。

放送局名を入力する

マニュアルステーションネームメモリー

プリセットされた放送局に、局名など最大４文字までの文字情報を入力することができます。

① 電源スイッチを ON にする。

②クラスボタンを押して、ネーム入力するステーションのクラスを A ～ C から選ぶ。

③ ネーム入力するステーションコールボタンを押す。またはチューニングつまみを回して、ネーム入力するステーションを選ぶ。

● ディスプレイにステーションナンバーとその周波数が表示されます。

④ キャラクターボタンを押す。

● ディスプレイに "INPUT" が表示されます。
● "INPUT" が表示されている間（約５秒）に、以下⑤の操作をはじめないと、設定は解除されます。そのときは、もう一度キャラクターボタンを押して操作を続けてください。
● "INPUT" の表示中にキャラクターボタンをもう一度押すと、ステーションネーム設定は解除されます。

⑤ チューニングつまみを回して文字を選択する。

● 文字は 4 文字まで入力できます。
● 選択できる文字についてはP.17の「ステーションネーム入力文字一覧表」を見てください。

⑥ 最初の文字を選択したら、MEMORY ボタンを押す。

⑦ ２文字め以降も⑤⑥をくりかえす。４文字めの選択を終えMEMORYボタンを押すと、入力が完了し、ディスプレイにその放送局名が表示される。

● 入力する放送局名が3文字以下のときは、余った入力位置にはスペース（空白）を入力してください。スペースは、"@" と "A" の間にあります。

■ **ステーションネーム入力についての注意**

● すでにステーションネームがメモリーされていたステーションに新たにメモリーすると、上書き登録されます。
● 入力したネームを消去したいときは、そのステーションの４字分すべてに、スペース（空白）を上書き入力してください。
● ネームが記憶されたステーションは、選局されると「ステーションナンバー＋周波数」表示から、数秒後、「放送局名」表示に自動的に変わります。「ステーションナンバー＋周波数」表示にするには、ディスプレイモードボタンを押して表示を切り換えます。

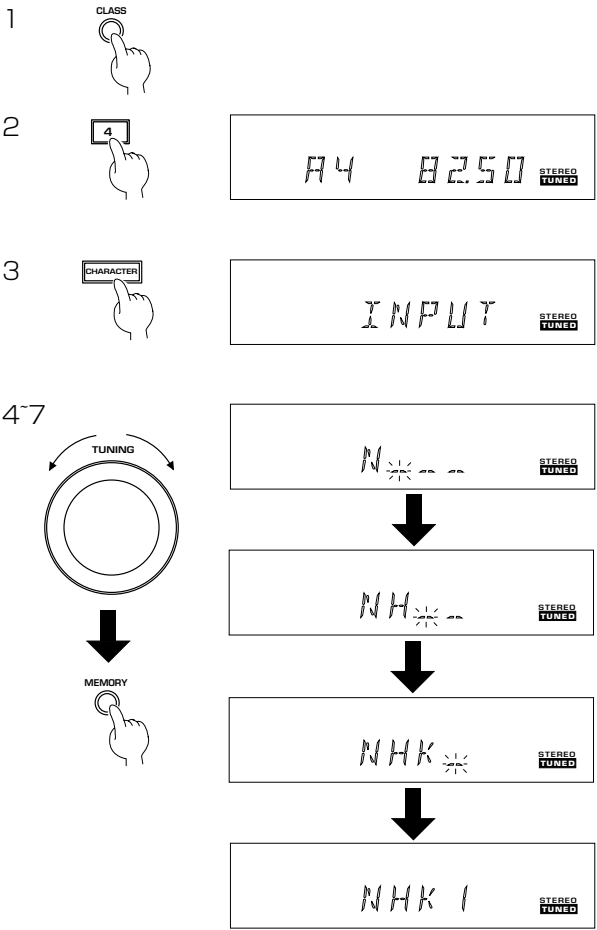
例：クラスナンバーA4に「NHK1」と入力する。

1　クラスボタンを押して、クラスAを選ぶ。
2　［4］を押す。
3　キャラクターボタンを押す。
4　チューニングつまみを回して「N」を選び、メモリーボタンを押す。
5　チューニングつまみを回して「H」を選び、メモリーボタンを押す。
6　チューニングつまみを回して「K」を選び、メモリーボタンを押す。
7　チューニングつまみを回して「1」を選び、メモリーボタンを押す。

1　CLASS

2　4　A4　82.50　STEREO TUNED

3　CHARACTER　INPUT　STEREO TUNED

4~7　TUNING　MEMORY
N　STEREO TUNED
NH　STEREO TUNED
NHK　STEREO TUNED
NHK 1　STEREO TUNED

ステーションネーム入力文字一覧表

文字・記号		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
ディスプレイ表示																	
文字・記号	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	_	!	0	1
ディスプレイ表示																	
文字・記号	2	3	4	5	6	7	8	9	"	%	&	'	(	)	*	+	、
ディスプレイ表示																	
文字・記号	-	.	/	:	=	?	@										
ディスプレイ表示																	

● この表の左上の空欄は、スペース（空白）の入力位置です。

放送局名入力

故障？ちょっと調べてください

意外な操作ミスが故障と思われています。故障かな？…と思ったら、症状に合わせて下の項目をチェックしてみてください。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のステレオ製品および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下の項目をチェックしても直らない場合は、P.5 の「アフターサービスについて」をお読みの上、修理を依頼してください。

症　　状	考えられる原因	処　　置
電源が入らない。	● 電源コードを接続していない。 ● 他の機器（アンプ、タイマーなど）のコンセントに電源プラグをつないだ場合で、他の機器からの電源が切れている。	● 電源コードをアンプまたは家庭用コンセントへ接続する。 ● 他の機器の電源を入れる。
音が出ない。	● 接続コードが端子からはずれている。または、間違えて接続されている。 ● 端子や接続コードのピンプラグが よごれている。 ● アンプの入力切換がTUNERにセットされていない。 ● 電源コードを数日間抜いていたため、放送局のプリセットメモリーが消去された。 ● 他の機器（アンプなど）の操作を間違えている。	● 接続コードを確実にアンプの TUNER 端子へ接続する。 ● 端子やプラグのよごれを拭きとる。 ● アンプの入力切換をTUNERに切り換える。 ● 放送局をメモリーしなおす。 ● 他の機器の取扱説明書を参照する。
雑音が多い。	＜ FM の場合＞ ● 放送局の電波が弱い。 ● 他の機器の雑音が入る。（特に自動車が通ると雑音が入る。） ● 受信場所の近くに山や高い建物があって、マルチパスが発生している。 （マルチパスとは、受信アンテナに直接受信される電波と、山や建物に反射して受信される電波が互いに影響し合うことにより、音がにごったり、雑音が生じたりする現象です。）	● 付属のＴ字型アンテナをFM専用の外部アンテナに交換する。 ● MPX MODE ボタンを押して、モノラル受信にする。 ● アンテナの取り付ける位置・方向を変えてみる。外部アンテナを使用しているときはアンテナの設置場所を道路から離したり、接続ケーブルを 75Ω の同軸ケーブルに変えてみる。 ● アンテナの取り付ける位置・方向を変えてみる。
	＜ AM の場合＞ ● 放送局の電波が弱い。 ● 付属の AM ループアンテナの向きが悪い。 ● 他の機器（蛍光灯やモーターを使っている電気製品など）の雑音が入る。	● MPX MODEボタンを押して、受信ポジションをNARROW にする。（このときディスプレイには MONO インジケーターが点灯。） ● アンテナの方向を変えて、よく聞こえる位置にする。 ● 雑音を発生させる機器の使用を止めるか、またはその機器とアンテナとを遠ざける。
FM 放送の受信中、音が歪む。	● アンテナの向きが悪い。 ● 電波が強すぎる。	● アンテナの方向を調整する。 ● RF ATT ボタンを押して、ON にする。
放送がステレオなのに、ステレオにならない。	● 電波が弱く、アンテナの入力が不足している。 ● MPX MODE ボタンが MONO になっている。	● 屋外の専用アンテナを設置する。 ● ボタンを押して、表示部を ＭＯＮＯ から STEREO に切り換える。

● 静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを ON/OFF するか、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより、正常に動作します。

仕様

FMチューナー部

受信周波数 ...... 76.0MHz～90.0MHz
実用感度 ...... モノ；14.2dBf (1.4μV/75Ω)
S/N 50dB感度 ...... モノ；20.2dBf (2.8μV/75Ω)
ステレオ；38.6dBf (23.3μV/75Ω)
S/N比 (85dBf入力時) ...... モノ；76dB
ステレオ；73dB
高調波歪率 ...... モノ；0.4% (1kHz)
ステレオ；1.0% (1kHz)
実効選択度 ...... 65dB(±400kHz)
ステレオセパレーション ...... 40dB(1kHz)
周波数特性 ...... 30Hz～15kHz(±1dB)
イメージ妨害比 50dB
IF妨害比 70dB
アンテナ 75Ω不平衡型

● 上記の数値は新IHF法による測定です。

AMチューナー部

受信周波数 ...... 522kHz～1,629kHz
実用感度（付属ループアンテナ）...... 350μV/m
選択度（NARROW時）...... 40dB
S/N比 51dB
イメージ妨害比 40dB
IF妨害比 51dB
ステレオセパレーション（NARROW時）...... 31dB
アンテナ ...... ループアンテナ（付属）

出力部

出力端子（出力レベル／出力インピーダンス）
FM（100%変調）...... 650mV/1k Ω
AM（30%変調）...... 200mV/1k Ω

電源部・その他

電源電圧 ...... AC100V、50/60Hz
消費電力 10W
スタンバイ時消費電力 1W
外形寸法（幅x高さx奥行）...... 420 x 78 x 287mm
本体質量 2.7kg

付属品

FM T字型アンテナ 1
AMループアンテナ 1
オーディオコード 1
コントロールコード 1
変換アダプター 1
安全上のご注意 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
取扱説明書 1
保証書 1

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ステーションメモ：プリセットした放送局をこの欄に記入しておくと便利です。

ステーションナンバー	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	A0/10
放送局名										
周波数										
ステーションナンバー	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8	B9	B0/10
放送局名										
周波数										
ステーションナンバー	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C0/10
放送局名										
周波数										

ご相談窓口　・　修理窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

●ホームページ　「商品についてよくあるお問い合わせ」FAQのご案内　http://www.pioneer.co.jp/support/faq/ index.html

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>市外局番「0070」で始まる フリーフォン及び「0120」で始まる フリーダイヤルは、ＰＨＳ、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１７：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ／ビジュアル商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口　フリーフォン　００７０－８００－８１８１－２２
一般電話　【一般電話】０３－５４９６－２９８６

●カタログ請求とメールマガジン登録のご案内　http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html

●ファックス受付　０３－３４９０－５７１８

部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１７：００ （弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０９５　　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０９６
一般電話　０５３８－４３－１１６１

修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター
受付　月曜～金曜 ９：３０～２０：００、土曜・日曜・祝日 ９：３０～１２：００、１３：００～１８：００ （弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２８（ゴーパイオニア）　　ファックス（フリーダイヤル）０１２０－５－８１０２９
一般電話　０３－５４９６－２０２３

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜 ９：３０～１８：００ （土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話　０９８－８７９－１９１０　　ファックス　０９８－８７９－１３５２

ＶＯＬ．009

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<99D00ZF0T00>　<ARA7087-B>